

# Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 小原 得 雄 編集責任者 足 立 聡 印刷所 東京印刷(株)



## 第49回中小企業団体全国大会開催される

### NATIONAL CONVENTION IN MIYAZAKI 1997

第49回中小企業団体全国大会が10月23日に宮崎県宮崎市シーガイヤワールドコンベンションサミットホールにおいて盛大に開催されました。この大会には、全国各地より5,000余名にのぼる中小企業の代表者が参会し、我が家が100棟（少しオーバーですが）ぐらい建ち並びそ

うなサミットホールが狭く感じるほど熱気にあふれておりました。又、会場内には宮崎県特産品即売コーナー、市町村資料コーナー、観光等による宮崎県紹介ビデオコーナーも設けられ大勢の人でにぎわっておりました。

鳥取県からは親会である鳥取県団体中央会の皆様をはじめとして、東部、中部、西部より青年中央会のメンバーが21名参加いたしました。

今回の全国大会は、「連携・創造 広がる未来」のテーマを開催理念として、1.即効性のある総合経済対策の早期実施 2.中小企業対策予算の確保・充実 3.中小企業に対する法人課税の実質的軽減 4.中小企業の経済構造改革対応への支援協力 5.中小企業組合制度の見直しと組織化対策の充実強化 6.大店法の緩和反対、中心市街地活性化対策の充実強化 の6つのスローガンを掲げ、中小企業振興施策の拡充強化、組合組織の基盤である中小企業の安定的発展、並びに豊かな社会を実現することを目的として開会されました。

開会宣言、政府関係者の方々からの御祝辞、宮崎県知事、宮崎市長の挨拶、その後18項目におよぶ議案の審議と決議がなされ、優良組合表彰、組合功労表彰、優秀専従者表彰、大会宣言の後、次期全国大会開催県である徳島県の紹介、そして、参加者全員の万歳三唱をもって閉会となりました。

我が西部青年中央会からは、秋田県会長を団長として、小原会長、松本直前会長等計8名が参加しました。米子より米子道、中国道をリムジンカーにて快適にとぼし、伊丹空港より空路宮崎入りをしました。天候にも恵まれて、宮崎到着時にはフェニックスの街路樹を車窓よりながめながら「南国に到着したな。」といった、異国情緒を感じることができました。空港からシーガイヤに向かうタクシーの中で、運転手さんより宮崎の風土を全般に渡ってアドバイス頂き、南国ならではの人の良さ、人情味を感じました。

私にとって初めての全国大会参加でしたが、たゆまぬ研鑽とみんなで語り合った友愛の時間、そして福岡の夜、口にしたトロピカルドリンクの鮮やかな色と味は一生忘れることができない思い出として胸に刻んでおきたいと思えます。(by 広報インチュウ)



## とびきり鳥取県発信!

### プレゼント贈呈式



先月号でも紹介した9月18日の抽選会から約1ヶ月後の10月10日、プレゼント贈呈式が中海テレビのロビーで行われた。Cセット当選の米子市安倍在任の細谷さんが代表としてプレゼントを受け取る予定だったが、ご高齢とのことで娘夫婦にあたる高田雅未(まさみ)・純代(のりよ)さんが代わりに来られた。中央会から小原会長、松本実行委員長、目次プロデューサー、SVSからは寿山さんが加わり、小原会長より高田さんへとプレゼントが手渡された。この模様は中海テレビでも放映されたのでご存じの方も多と思う。

中海テレビのインタビューに小原会長は原稿もなしにスラスラと答え、さすがにテレビ慣れた貴様を見せつけた。プレゼントの多くはこの時点で発送済みだったが、この日のビデオデッキ・ファックスといった大きなプレゼント贈呈で、準備期間1年以上をかけた大イベントはひとまず終了した。あの暑かった夏の日が恋しいような、ほっとしたような奇妙な感慨がある。

# 10月例会報告



10月15日、ホテルサンルート米子において10月例会が開催された。

小原会長の挨拶と、委員会タイムとして地域ビジョン委員会の芥屋、柴野会員のスピーチがあった。

両各員のスピーチは、職業柄、季節柄か忘新年会の勧誘であったが、朝日町に飽きたら皆生で行うのもどうだろうか。

引き続き、浜田新入会員のバッチ授与式では、小原会員より直接バッチを頂き感銘の表情で、自己紹介が行われ入会に当たりの抱負を述べて頂いた。

このあと、新日本海新聞社、鳥取発特報部部長代理記者、田村耕太郎氏を迎え「メディアから見た地域合併問題」と題した講演が行われた。

田村氏は、地域合併によるメリット、デメリットを各会員と共に意見を出し合い、終始対話形式で進められ、いつもは一方的な講演を自発的な物とすることが出来た。

その結果メリットとして、コスト削減、地方の特性に合った政策が上げられ、デメリットとして、地域の特性がなくなる、地名が変わる、行政サービスの悪化、失業者の増加が上げられた。

今回の講演では、身近な問題でありながら難題であることを実感させられたが、会員が共に考えを、自発的な発言をされ、大変有意義な例会とすることができた。

## 第2回 委員長交流会

10月13日(月)倉吉「レストラン富士」において、委員長交流会が行われた。昨年度は2月開催だったが、秋田県会長の「できるだけ早い機会に」という号令の下、東中西各委員長、ならびに各県副会長が仲人役として集まった。委員長交流会の発起人でもある森直前県会長がはじめに「情報交換はもちろん、1人でも多く友達を作って帰るように」と挨拶されたものの、最初の1時間はうぶなお見合い初心者のように、みんななかなか緊張が取れなかった。場所を替え、懇親会そして2次会と進むにつれ次第に打ち解け、どの出席者もそれぞれの地区同志だけでしゃべることなく、同じようなテーマを持った他の地区の委員長から少しでも何か吸収しようとする真剣さがみられた。各地区ともユニークな委員会、たとえば東部の「魅力増強委員会」、中部の「企画室」(専任メンバーわずか3名であとは各委員会より1名ずつ出向)などそれぞれの特色がでていたが、共通する悩みは「出席率」であった。各委員長とも県会長のテーマである「交流」をさらに深め、各会員に還元して貰ってほしいものである。



## 恒例 まつたけ委員会 本年度も開催!



10月18日(土)PM 7時より大連に於いて、この時期恒例の“まつたけ委員会”が開催されました。小原会長、松本直前をはじめ各委員会より19名、社会プロブレム委員会より11名、総勢30名の参加で行われました。

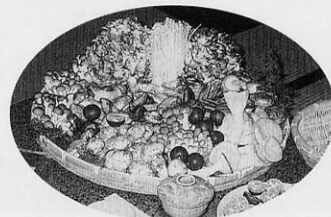
メニューは前日に徳中会員と大田会員がわざわざ朝日町より調達して来たという七輪での素焼き、そして松茸はもちろん、マイタケ、シイタケ、マツタケツ子、金時豆などのでんぷら、茶碗蒸し、松茸御飯、吸物、そして松本直前絶賛のきのこのオイスターソース炒め、大田会員差し入れの刺身と心づくしの料理を味わった。また土井副会長より頂いた日本酒“海王”を飲みながら秋の夜長を楽しく‘交流’することが出来ました。

社会プロブレム委員会はこの日、環境、エネルギー問題を考えるということで鹿島原発視察に行きました。“きのこ”もまさに森林を守るという役割を果たしているのでも改めて自然の恵みに感謝させられた有意義な1日でありました。

最後になりますがお世話いただいた徳中会員、大田会員に心より御礼申し上げます。

また、この会が来年もどこかの委員会で開催される事を期待して終わります。

社会プロブレム委員会 安部利夫



# 10月度委員会報告

## 政治行政委員会

平成9年10月7日(火) 於:米子食品会館 出席者/13名

演題/『米子市の財政について』

講師/米子市役所総務部財務課

課長 角 明博氏

内容/講演資料に「地方財政について」をいただき説明を受けた。

いつも以上に活発な意見交換がなされた。

噂に聞いていたが非常に悪い米子市の財政であり資料を一度

見られては?!

問合せ先:長谷川郁委員長・河端明彦副委員長

## 社会プロブレム委員会

平成9年10月18日(土) 於:島根原発及び大連 出席者/12名

内容/社会プロブレム委員会は、島根原子力発電所の視察を行った。視察の様子は、ハンサムに掲載されることになっているのでここでは、省略させていただく事とする。

米子に帰り、大連にて役員会報告などをおこなった。

その後この季節恒例となった、松茸委員会を当委員会の主催で開いた。

小原会長のあいさつで始まったこの会を、これからも続けて行こうと参加者全員の意見が一致した。委員会の枠を越え会員が集まる事の出来る貴重な会ですので、参加したことのない方は来年ぜひ参加されてみてはいかがでしょう。

尚、松茸委員会の開催にあたりまして、徳中会員、大田会員には大変お世話になり、感謝致しております。ありがとうございました。

## 地域ビジョン委員会

平成9年10月6日(月) 於:米子食品会館 出席者/8名

内容/1. 担当例会打ち合せ

2. スケジュールの確認、各分担の決定

3. 今後の活動について

4. 忘年会について

5. 経営研修会について

## 経営委員会

平成9年10月8日(水) 於:ホールサムインかいけ 出席者/10名

演題/「新規事業参入への決断、中国進出の背景と現状」

講師/吉川商事社長 吉川 隆氏

内容/米子に本社をおきながらも、中国に事業展開されている吉川社長に中国の経済改革と合弁事業の現状を又、社長自身の体験談をとおしての中国進出における問題や注意すべき点、必要な事等を語っていただいた。

北朝鮮事情にも精通されており、マスコミ等を通じては知り

得ない話をうかがった。北朝鮮の実写ビデオが当方のミスに依り、拝見できなかったのが残念であった。

## 情報メディア委員会

平成9年10月3日(金) 於:米子食品会館 出席者/10名

内容/NTT高度通信を担当しておられる恩田氏を講師に招き、情報通信の現状と現在研究している分野の説明を受けました。

ISDN回線の需要が急速に広がっており、操作する側も、目的意識を明確にして取り組むべきものと結論づけました。

## 金融委員会

平成9年10月17日(金) 於:米子食品会館 出席者/10名

内容/「証券業界から見た金融ビッグバン」というテーマで大山日ノ丸証券米子支店より中央会の現役会員でもある村上達哉氏を講師として証券業界の現状と今後についてお話ししました。

ビッグバン先進国である英米両国のデータなどを交えお話を聞きながら、日本版ビッグバンの必要性をあらためて感じさせられました。

## 広報委員会

平成9年10月2日(木) 於:大連 出席者/11名

内容/11月、12月ハンサム打ち合せ

12月忘年会について打ち合せ

## 総務委員会

平成9年10月6日(月) 於:ホールサムイン皆生 出席者/9名

内容/1. 新入会員承認の件…浜田一徳君、広報委員会へ

2. 11月例会開催の件

3. OB交流会開催について

## 21地球委員会

平成9年10月6日(月) 於:(株)丸綜 出席者/11名

内容/「知られざる地球環境の実態」というテーマで、今最も緊急の対策が必要と思われる「オゾン層破壊」について委員会内で勉強会を開催した。内容は次のとおり。

●オゾン層破壊による紫外線Bの増大は皮膚ガン、白内障、免疫低下などの直接的被害や、今後農作物の減収、生態系の崩壊などの極めて深刻な地球規模的被害をもたらす。

●オゾン層はすでに北極、南極などで40%、日本上空で30%減少しており、オゾン層がなくなると陸上生命は死滅する。

●現在先進国にはきびしいフロン規制があり、有害紫外線の危険性が広く公表され、直射日光に対する注意が呼びかけられている。

●これらの事実が日本ではほとんど知らされず法規制もない。

●「地球環境の実態は一般に知られているよりはるかに深刻である。」

## 社会プロブレム委員会視察

### 島根原子力発電所

「燃料棒の長さは、どれくらいですか?それからその寿命は?」会員の質問が飛ぶ。「はい、長さは約4.5メートル、寿命は約3年になっております。」明るく、はきはきとしたコンパニオンの山本小百合さんの声が響く。

ここは、島根原子力館、原子力コーナー実物大の原子炉模型の、中心部である。真剣な会員の表情のなかにも、山本さんの存在が醸し出す和やかな雰囲気が映し出される。「嗚呼、10月委員会に、この場所を選んでよかった。」予定時間の半ばではあるが、私は、今日の視察の成功を確信した。

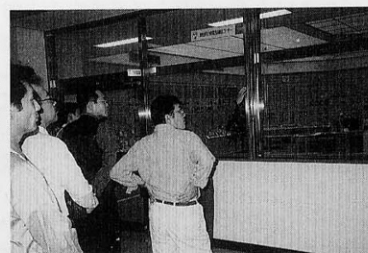
環境問題から言えば、以前は発電所から発生する放射性物質の周辺への影響が挙げられていたが、現在では会長のおっしゃる処の時代の発展と共に「地球環境」を考える必要が出て来たと思われる。というのも「原子力」は地球温暖化防止に非常に有効な手

段だからである。

安全対策が確実に行われていけば原子力発電はこれから今にもまして重要になるであろう。そのためにも安全対策を含め、我々が関心を持って見つめて行かなければならないと思う。

私は当初、原発施設という暗いイメージを持っていたが、島根原子力館はとても明るくご家族で行っても充分楽しめる施設なので、行かれたことの無い方は是非一度たずねてみる事をお勧めする。

最後に今回の視察にあたってお世話頂いた、中電米子営業所の河野さん、島根原子力館館長の遠藤さん、そしてコンパニオンの山本さん、本当にありがとうございました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。



# お父さんの通信簿

谷口 勉 (総務委員会) 家の場合

妻・佳名恵さん・貴司君 (中1)・友一君 (小4) の巻

●新企画のこのコーナーでは、普段着姿の会員を家族の皆さんに語っていただきます。

家族の記念日を覚えていますか？

え〜と結婚記念日が58年10月10日子供の誕生日が長男が8月1日と次男は6月5日。(この手の質問は予期していたらしくすらすら答えたが、何年との質問には回答できず。) 佳名恵さん (以下妻) (すかさず) 59年と62年 (半ばあきれ顔)

出会いは？

妻 お見合いです。そのときの印象はとても真面目そうな人だなと思いました。(いまは？の問いに、ただただ笑い)

家ではどう過ごされておられますか？

夫 なかなか家族と話をする時間がないけれど、できる限りするようにこころがけている。

休みに家族旅行に出かけたりとかは？

夫 (少し考えてから) 殆どありませんね。

妻 (強く口調で) いえ、一度もありません。(傍らで頭を掻きながら笑う夫)

どんなお父さんですか？

夫 はっきり言って亭主関白です。(かなり自信を持っている風)

妻 (只無言で頷く)

最後にご主人に一言

妻 家庭のことは、全くといって良いほど私任せですが、別に気になりません。ずっとそうでしたから。健康でずっと働いてほしい。只、食事の時に鼻をいじくるのはやめてほしい。



☺ ☺ ☺

(本人のクセらしい) 明るく (性格が) ひょうきんな印象が強い谷口会員ですが、あにはからんや家庭では亭主関白を決めて、威厳を保っておられることを知り、感心しました。

「家では全くとお酒を飲みません」一理由は、家族に何かあったときに対応できないからとのこと。本物の大黒柱をみた思いがした。突然のお邪魔にも、快く (?) 取材に応じてくださいました谷口ご夫妻ありがとうございました。

コピーをして名簿にお貼り下さい

## 聞いてごしない Part 11

### 「風」

境港で開催された山陰夢みなど博覧会も190万人を超える入場者があり幕を閉じました。私もこんな多くの人、車を境港の地で見たことがありませんでした。気候もすっかり秋めいて、祭の後という雰囲気でも少し寂しい気分でもあります。夢みなど博の経済効果やこれからの後地利用がさかんに議論されていますが、将来中海圏域が環日本海交流の拠点となることを夢見ています。

会員の皆さん方にとって夢みなど博はどんなものであったでしょうか。西部青年中央会は、「とびっきり鳥取夢発信」と銘打って、山陰夢みなど博覧会衛星二元生中継をいたしました。本事業を通して青年中央会のパワーと実行力をあらためて認識いたしました。きっと小原会長、松本実行委員長をはじめとして会員の心に感動をきざんだことと思います。

さて話はかわりますが、私、第17回境港市福祉文化祭「いきいき浜っ子祭」の実行委員長をさせていただきました。例年9月に行っていたのですが、今年は夢博が終わってからということで10月5日(日)に境港市民会館の周辺で開催いたしました。この「いきいき浜っ子祭」は境港市の主催で、障害者も健常者も一緒になって楽しい一日を過ごす目的で毎年一回開かれています。ボランティア協議会をはじめ、たくさんの団体の協力で実行委員会を構成しています。私は、不慣れな者でありながら、経験豊かな実行委員会の方々に助けられ、中学生から年配の方まで多くのボランティアに支えられて、どうにか成功裡に終わることができました。

少し感想を申し上げると、ボランティアに対する考え方が変わってきたことを思います。阪神淡路大震災、重油流出事故のボランティア、そして地元境港では、夢みなど博のボランティアの活躍。ボランティアが身近になり、やれる人がやれることをどんどんやってみよう、参加しようという風を強く感じました。

青年中央会も世代交代がすすんでいます。好むと好まざるとにかくかわらず、会員意識が変化してきている中で、今青年中央会が、どんな風を受けて、どんな風を吹かすのかは、大いに議論していかなくてはならないと思います。

「もっと強く、もっと素晴らしい風を吹かす為に。」

P.N. 促成栽培

### 11月例会案内

と き 11月17日(月) PM7:00開始 PM6:30受付開始  
ところ 米子国際ホテル  
講 師 (社)日本経済研究所センター  
大阪支所長 上村千明氏  
演 題 「中小企業の生き残り策」改革の成果をどう生かすか  
担 当 経営委員会

### 11月役員会報告

11月定例役員会が10月4日(火)、米子食品会館に於いて開催された。

当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 11月、12月例会(役員会)開催の件
- (2) 県青中研修会、海外研修の件
- (3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

### 編集後記

伯耆富士にも初冠雪が降り冬の訪れを感じつつ、我がからだを見ればすでに冬を乗り越える為、脂肪を蓄えているのではないかと驚いている次第である。